

学校教育目標	●「働く」・・・「働く」ことを目指した学習を進め、積極的に社会貢献しようとする人を育てます。 ●「自立」・・・「社会に貢献できる人」としての育ちを通して、社会的・精神的・経済的に自立していく態度・姿勢を高め、健康的で文化的な生活を目指す人を育てます。 ●「自己実現」・・・「社会人」としての基礎的素養を育むとともに、自己や他者の特性や長所等を理解したうえで自他を尊重し、人や社会とのかかわりの中で「自分らしさ」を生かした生き方を実現していこうとする人を育てます。					

学校概要	創立 15 周年	学校長 和内 正也	副校長 植木 直樹	2 学期制	幼児・児童・生徒数 141 人
	幼稚部:	小学部:	中学部:	高等部本科: 18	専攻科:

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての基本的素養</li> <li>・コミュニケーション力</li> <li>・自他を認める力</li> <li>・「働く」力</li> <li>・「自立する」力</li> <li>・「自己実現」に向かう力</li> </ul>

「3年間で育てる子ども像」と 具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的に自立する態度・姿勢をもち、積極的に社会貢献しようとする人</li> <li>○自他を尊重しながら、「自分らしさ」を生かした生き方を実現していこうとする人</li> <li>○生徒一人ひとりの自己実現に向けて、人権教育を基盤とした指導・支援の充実を図りながら、学校教育全体を通して、生徒の自己有用感を育てるとともに、自他を尊重する全人的な教育を進めます。</li> <li>○働く力、社会人として生きていく自覚を高め、積極的に社会貢献しようとする態度を育てます。</li> <li>○生徒自身が学ぶことの喜びを実感し、卒業後も学び続ける意欲を持ち続けることができるようしながら、自立した社会生活を送るための基礎となる力を育てます。</li> </ul>

中期取組目標	○卒業後に社会的に自立し、自分らしさを生かして生活できるように、個々の特性や個性を尊重した指導を行います。 ・生徒が、より安心して豊かな学校生活を送ることができるよう、生徒の人権を尊重した教育の充実を進め、自他を大切にできるようにします。 ・生徒が学ぶ喜びを実感し、学び続ける意欲をもち続けられるようにし、自己実現に向けて努力できる力を育てます。 ・生徒一人ひとりの特性や長所を生かしながら、個のニーズに応じた進路支援の充実を図り、社会のニーズに応じた職業人、社会人としての育成を進めます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>個に応じた指導・支援</b> 担当 教務係	①生徒の実態やニーズの多様化を踏まえ、社会の様態・ニーズも考慮し、個別の教育支援計画・個別の指導計画を全教職員で共有して、一貫した指導・支援の充実を進める。②教職員間の活発なディスカッションに基づく目標や方法の共有と、本人及び保護者との合意形成を丁寧に進める。
<b>確かな学び</b> 担当 教務係	①各教科等の連携を強化し、自身の成長のために学び続け、社会人として自立し自己実現を目指す意欲と態度を育てる指導・支援の充実を進める。②生徒の特性、長所を生かしつつ、「できる」を実感させながら自身の目標と課題を的確に捉えられるような指導・支援を更に充実させる。
<b>豊かな心</b> 担当 支援係、道徳	①他者とのかかわりの中で、自分や他者の長所や個性を理解し、お互いに認め合い、支え合える関係づくりを重視した指導・支援の更なる充実を進める。②「特別の教科 道徳」のカリキュラム編成を進め、その内容を学校教育活動全体で生かせるように研究を進める。
<b>健やかな体</b> 担当 スポーツ、保健	①体力の必要性を理解することとともに、生涯スポーツとして取り組む意欲や態度を育てる。②健康的な生活の重要性や在り方を理解し、その健康的な生活の維持のために自律的に日常生活を送ることができるような指導・支援の充実を更に進める。
<b>センター的機能の取組</b> 担当 支援係	①小中学校等の自立的な特別支援教育体制の構築や拡充につながるように、学校支援の在り方の検討・改善を進める。②高校との連携を進め、高校での特別支援教育の充実に貢献する。③ホームページ等を活用し、本校の取組や特別支援教育に関する情報発信を更に充実させる。
<b>進路支援</b> 担当 進路係	①就労準備性ピラミッドの考え方の保護者との共有を進める。②積極的に職場開拓と実習先との丁寧な調整を行い、実習先の確保とともに、状況に応じた実習、進路支援の在り方の検討を進める。③卒業時の様々な進路選択を踏まえた卒業支援の在り方の検討を進める。
<b>いじめへの対応</b> 担当 支援係	①生徒にとって教職員が最大の教育環境であることを再確認し、生徒一人ひとりを尊重し、生徒が自他を尊重できるように指導・支援を継続する。②早期発見・早期解決に向けての取組だけではなく、予防的な取組をより重視した情報共有と指導・支援体制の構築を進める。
<b>人材育成・組織運営 (働き方改革)</b> 担当 教務係、育成係	①育成担当教員を明確に位置づけ、メンターチームや各種研修等を機能的に活用した育成システムの構築の検討を進める。メンターチームは自主的運営を更に進める。②業務負担の軽重を再検討するとともに、担当者のみが担うのではなく、教職員が相互に補完しあえる風土を醸成することで、業務負担の平準化を進めていく。